



NISSAY
ASSET MANAGEMENT

News Release

ニッセイアセットマネジメント株式会社

2010年4月23日

「ニッセイ日本インカムオープン（愛称：Jボンド）」の 「R&I ファンド大賞 2010」優秀ファンド賞の受賞について

ニッセイアセットマネジメント株式会社（社長：皆川 卓士）は、株式会社格付投資情報センター（R&I）が選定する「R&I ファンド大賞 2010」において、投資信託／国内債券部門の優秀ファンド賞を受賞いたしました。

当社は今後とも、長期ビジョンに基づいた商品開発、徹底したリサーチ、厳密なリスク管理に基づいた継続性・一貫性のある運用、高品質なサービスのご提供を通じ、皆様にご安心して資産運用をお任せ頂けるよう、不断の努力を続けていく所存でございます。引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 「投資信託／国内債券部門」 優秀ファンド賞
ニッセイ日本インカムオープン（愛称：Jボンド）

「R&I ファンド大賞 2010」について

「投資信託」、「投資信託／総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「確定給付年金」は『R&I ユニバース計測サービス』に登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「確定給付年金」では2008、2009、2010年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2010年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」では「シャープ・レシオ」を採用、表彰対象は設定から3年以上かつ償還予定日まで1年以上の期間を有し、残高が10億円以上かつカテゴリー内で上位75%以上の条件を満たすファンドとしている。なお、「確定拠出年金」のバランス型は、ライフサイクルファンド（アセットアロケーション、各資産の運用スタイルがともにパッシブのものは除く）を構成する複数のファンドの2008、2009、2010年それぞれの3月末時点における1年間の「シャープ・レシオ」の残高加重平均値によるランキングに基づき、いずれも上位75%に入っているファンドに関して、2010年3月末の平均残高が10億円以上の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では原則として定量評価に「インフォメーション・レシオ」を採用している。なお、「投資信託」、「確定拠出年金」では上位1ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位2ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金」では受賞区分を設けていない。「投資信託／総合部門」では、2010年3月末において残高10億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間における「シャープ・レシオ」の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位1社を「最優秀賞」、次位1社を「優秀賞」として表彰している。
詳細はR&Iのウェブサイト（<http://www.r-i.co.jp/toushin/>）をご覧ください。

「R&I ファンド大賞」は、過去のデータに基づいたものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、投資の参考となる情報を提供することのみを目的としており、投資家に当該ファンドの購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、格付投資情報センターの顧客に対して提供している定性評価情報とは関係ありません。当大賞は信頼すべき情報に基づいて格付投資情報センターが算出したものであり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されていません。当大賞に関する著作権その他の権利は、格付投資情報センターに帰属します。格付投資情報センターの許諾無く、これらの情報を使用（複製、改変、送信、頒布、切除を含む）することを禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーについては、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、必ずしも受賞運用会社の全ての個別ファンドそれぞれについて運用実績が優れていることを示すものではありません。投信の基準価額等はQUICK調べ。

以上

この件に関するお問い合わせは

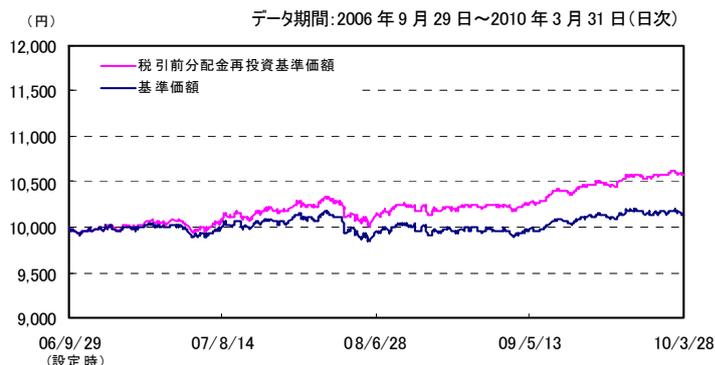
広報室／〒100-8219 東京都千代田区丸の内 1-6-6 日本生命丸の内ビル

Tel.03-5533-4037 <http://www.nam.co.jp/>

ニッセイ日本インカムオープン（愛称：J ボンド） 概要

【運用実績】（2010年3月末現在）

◆基準価額の推移



<2010年3月末現在>

純資産総額：159億円

基準価額：10,135円

※左記基準価額は信託報酬（純資産総額に対し年率0.8925%（税込）を上限、詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）控除後のものです。

※左記グラフはあくまで参考データとする目的で過去の実績を示したものであり、将来の利回りを保証するものではありません。

※左記税引前分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を再投資したものと計算しております。

【ファンドのリスク】

当ファンドは、主に国内債券を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格の下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化、期限前償還等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「金利変動リスク」「信用リスク」「期限前償還リスク」「流動性リスク」などがあります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

【お客様にご負担いただく費用について】

お申込時に直接ご負担いただく費用

- お申込手数料：取得申込受付日の基準価額に2.1%（税込）を上限として各取扱販売会社が定める手数料率をかけて（1万口当たり）得た額とします。

ご換金時に直接ご負担いただく費用

- 信託財産留保額：ありません。
- 換金手数料：ありません。

保有期間中に信託財産で間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬（年率）：純資産総額に0.8925%（税込）の率をかけて得た額を上限とします。
- 監査費用（年率）：純資産総額に0.0315%（税込）の率をかけて得た額を上限とします。
- その他費用：証券取引の手数料等、信託事務の諸費用、借入金の利息を間接的にご負担いただきます。当該費用の金額、その上限額および計算方法は、運用状況等により異なるため、事前に記載することはできません。

※手数料等の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果（損益）はすべて投資家の皆様のものとなります。元本および分配金が保証された商品ではありません。
- 投資信託は、保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 取得のお申込みに当たっては、取扱販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずファンドの仕組みやリスク等の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当プレスリリースは、ニッセイアセットマネジメントによって作成されたものであり投資の判断を行って頂くものではございません。

設定・運用は  **ニッセイ アセットマネジメント株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号、加入協会：（社）投資信託協会／（社）日本証券投資顧問業協会